



## **Joy to the world**

作詞:Isaac Watts

作曲:Lowell Mason

編曲:Joe Pace & Colorado Mass Choir

<Verse 1>

Joy to the world! The Lord is come  
Let earth receive her King!  
Let every heart prepare Him room  
And heaven and nature sing  
And heaven and nature sing  
And heaven, and heaven and nature sing

<Theme>

Joy to the world everybody  
Joy to the world

<Verse 2>

諸人(もろびと)こぞりて 迎えまつれ  
久しく待ちにし 主は来ませり  
主は来ませり 主は、主は来ませり

<Theme>

(転調)

<Theme>

<Vamp>

Heaven and nature sing  
Joy to the king

Joy

【和訳】

<Verse 1>

全世界よ、喜びなさい  
王がやってこられる  
地球にいる全ての生命で 王を受け入れよう  
心に彼を受け入れる準備をなさい  
天国と、地球にあるすべてのもので  
彼の誕生を喜び、褒め歌いなさい

<Theme>

世界中に全て人々よ、喜びなさい  
そして、世界中に喜びを伝えなさい

<Verse 2>

<Vamp>

天国と、地球にある全ての生命で  
彼の誕生を喜び、褒め歌おう  
なんて素晴らしい喜び(=Joy)なんだ

【今月の豆知識】

1. 元々は詩編:96章11-12節、98章、創世記3章17-18節をもとにして歌詞が書かれました。そこに後からメロディがつけられたものです。Verseが命令形なのは神様からの言葉だからです。面白い表現としては、「遊ぶ」対象が人類ではなく地球(Earth)であることです。イエス様の誕生は人類だけの喜びではなく、地球に生きる全ての生き物(聖書では呼吸するモノ全てを指す)にとっての喜びである、ということです。
2. クリスマスは、Christmas=Christ Mass=キリストの礼拝=イエス様が生まれたことを記念する礼拝、という意味で、イエス様が12月25日に産まれたかは分かっていません。寧ろ、記念日を12月25日に祝うということはもっと前に産まれていたとする説が有力です。キリスト教や当時の諸般の理由で、12月25日を記念日とすることになりました。  
因みに、欧米では12月はほぼ仕事をしません笑。個人的に、これはイエス様が生まれた月だから「家族との時間・家族への愛を大切にしよう」という意味もあるのではないかと考えています。